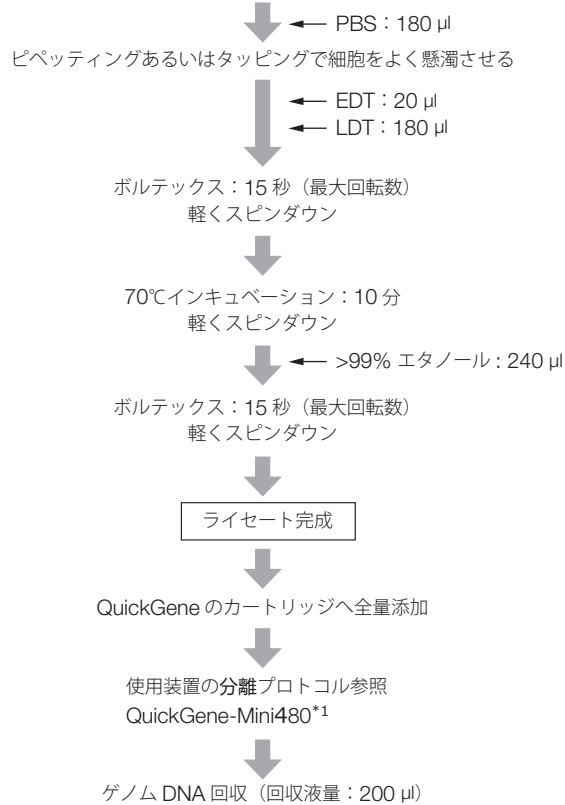


# ヒト子宮頸癌細胞株からのヒトパピローマウイルス (HPV) DNA分離

## プロトコル

1.5 ml マイクロチューブに回収した細胞ペレット (上限  $1 \times 10^6$  個の細胞)

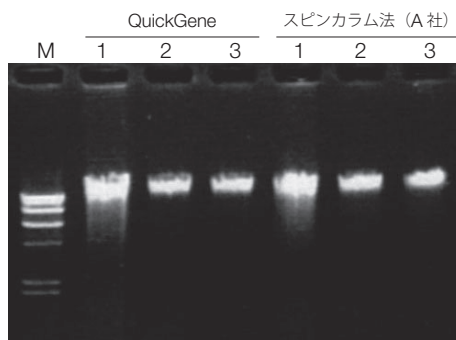


\*1 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGeneシリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

細胞株 : HeLa (HPV18 10 ~ 50 コピー)  
 : SiHa (HPV16 1 ~ 2 コピー)  
 : CasKi (HPV16 400 ~ 600 コピー)

## 電気泳動図



電気泳動条件 : 1.5% アガロース /  $1 \times$  TAE

M :  $\lambda$ -Hind III

1 : HeLa

2 : SiHa

3 : CasKi

分離したゲノム DNA に分解は認められなかった。

### ■ ゲノム DNA の収量

サンプル	HeLa	SiHa	Caski
QuickGene	23.5 µg	11.6 µg	13.5 µg
スピнкаラム法 (A 社)	26.2 µg	10.5 µg	7.3 µg

### ■ タンパク質の混入：A260/280

サンプル	HeLa	SiHa	Caski
QuickGene	2.00	1.94	1.93
スピнкаラム法 (A 社)	1.81	1.94	2.15

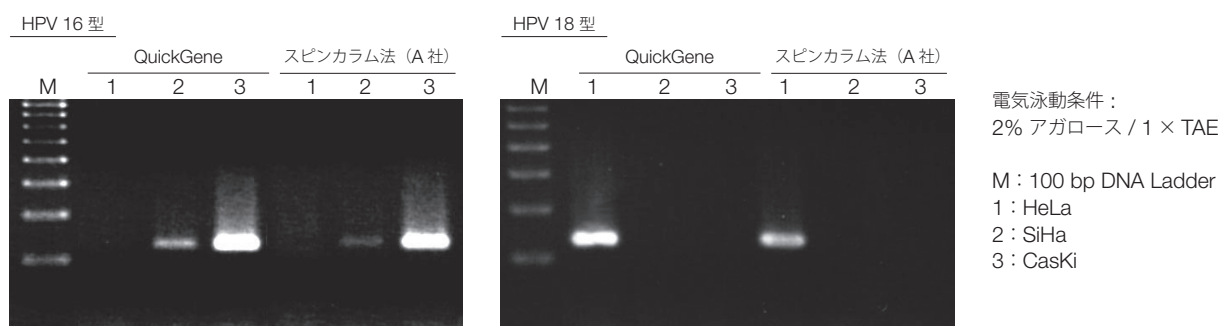
### ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

### ■ その他

#### ● PCR

QuickGene システムおよびスピнкаラム法 (A 社) を用いて分離したゲノム DNA で、HPV の 16 型と 18 型のウイルスゲノム DNA の検出を、PCR 法により行った。



QuickGene システムを用いて分離した HPV 感染細胞 DNA から、感染細胞中 1 から 2 コピーの HPV ゲノム DNA を PCR により検出することができた。

### ■ 共通プロトコルサンプル

データなし